

「佐渡金銀山」保存・活用行動計画
令和元年度事業 点検・評価調査

3-12

章	第3章 佐渡金銀山の保存管理		取組項目	構成資産の巡視・監視体制の強化
	節			
事業(施策)名	12 定期点検(モニタリング)の実施		事業主体	佐渡市世界遺産推進課
	事業実施期間	H28~R4	関連団体	県文化行政課、佐渡市環境対策課、佐渡市社会教育課
事業概要	<p>【事業目的】</p> <p>○遺跡のパトロール体制の整備・強化により、構成資産や散策道の適切な維持・保全を図る。</p> <p>【事業内容】</p> <p>○詳細なモニタリング調査と、構成資産や散策道の適切な維持・保全に向けて、遺跡パトロール体制の整備・強化を図り、資産や散策道等のガイダンス設備の定期点検(モニタリング)及び不法投棄等の日常的な監視を行う。</p>			
	R元 事業計画と実績	<p>【元年度計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●策定中の史跡や文化的景観の整備基本計画の内容と連動したマニュアル(案)を作成する。 ●自然災害時等にパトロールを行う。 <p>【元年度実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●史跡整備基本計画において、経過観察の方針を記載し、計画と連動したマニュアル(案)を作成した。 ●自然災害発生時や現地視察対応に伴う事前の現場確認の際にパトロールを行った。 		
課題・今後の取組		<p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■構成資産が広範囲にわたるため、資産の適切な維持・保全を図るためのパトロールを継続する必要がある。 ■現地パトロールの実施に向けて、当課職員のみでは全ての範囲を巡回することは困難であるため、関係機関や関連団体の協力を要請する必要がある。 ■劣化が著しいがすぐに保存整備に着手できないものについて、今後のモニタリングの指針や毀損後の修理に向けた基礎資料とするため、測量等により各資産の現状を記録する必要がある。 <p>【今後の取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■関係機関や関連団体の協力を得ながら、現地パトロールを継続する。 ■劣化の著しい大間港トラス橋の現状記録のため、3次元測量を実施する。 		
	事業評価	<p>【事業の達成度】</p> <p>[a (b) c]</p> <p align="center">◇計画どおり、目標を達成できたことからBとした。</p>		
<p>【事業実施の効果】</p> <p>[a (b) c]</p>				
<p>【総合評価】</p> <p>[A (B) C]</p>				

a: 進んでいる。高い。
b: 概ね順調。概ね適切。
c: 遅れている。低い。

A: 計画を上回る進捗で、十分な成果が得られている。
B: 概ね計画どおり進んでおり、一定の成果が得られている。
C: 計画から遅れが見られ、十分な成果が得られていない。